

平成30年度第2四半期

---

退職等年金給付組合積立金 管理及び運用実績の状況



全国市町村職員共済組合連合会  
National Federation of Mutual Aid Associations for Municipal Personnel

## 目次

- ・ 平成30年度 第2四半期運用実績(概要).....P 2
- ・ 平成30年度 市場環境(第2四半期).....P 3
- ・ 平成30年度 資産構成割合.....P 4
- ・ 平成30年度 運用利回り.....P 5
- ・ 平成30年度 運用収益額.....P 7
- ・ 平成30年度 資産額.....P 9
- ・ 資金運用に関する専門用語の解説(50音順).....P10

## 平成30年度 第2四半期運用実績(概要)

運用利回り + 0. 1 0 %※実現収益率 (簿価)  
(第2四半期)

運用収益額 + 2. 8 6 億円※実現収益額 (簿価)  
(第2四半期)

運用資産残高 2, 9 8 1 億円※簿価  
(第2四半期末)

※年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要です。

(注1)収益率及び収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

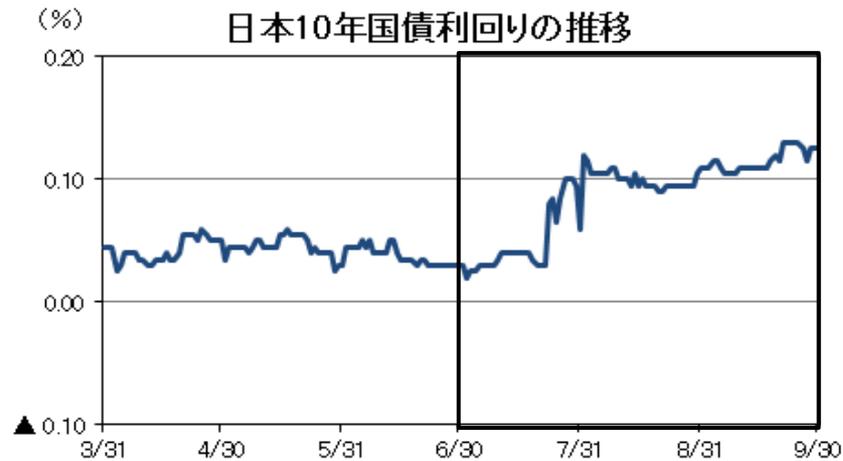
(注2)実現収益額は、売買損益及び利息・配当金収入等です。

(注3)上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

## 平成30年度 市場環境(第2四半期)

## ○国内債券市場

10年国債利回りは、7月下旬に日銀が金融緩和に伴う副作用の対応策検討との報道から上昇。7月末の金融政策決定会合で発表された「強力な金融緩和継続のための枠組み強化」及び会合後の黒田総裁の会見で、長期金利の変動幅の拡大を認める方針が示されました。8月初に、日銀の臨時の長期国債買入オペ実施後は低下しましたが、9後半に米長期金利上振れや日銀の超長期国債買入オペ減額などを受けて、再度上昇しました。



(出所) Bloomberg

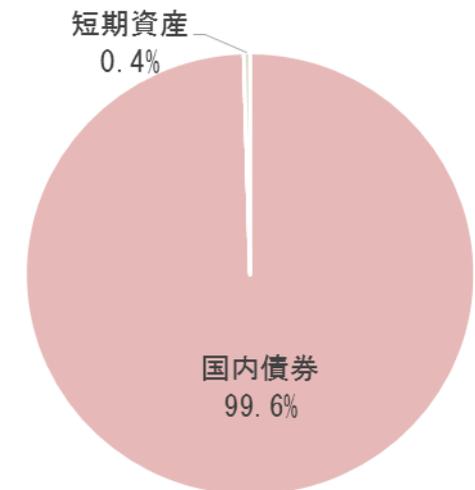
## 平成30年度 資産構成割合

資産ごとの構成割合(簿価)は以下のとおりです。

(単位：%)

	平成29年度	平成30年度			
	年度末	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末
国内債券	97.2	96.4	99.6	—	—
短期資産	2.8	3.6	0.4	—	—
合計	100.0	100.0	100.0	—	—

第2四半期末 運用資産別の構成割合



(注1)基本ポートフォリオは、国内債券100%です。

(注2)貸付金は、国内債券に含んでいます。

(注3)上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注4)ファンドで保有する短期資産は、原則として該当する資産区分に計上しています。

(注5)上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

## 平成30年度 運用利回り

平成30年度第2四半期の実現収益率は、資産全体で0.10%となりました。

退職等年金給付組合積立金で保有する国内債券は、満期持ち切りを前提とするため、簿価評価としています。

(単位：%)

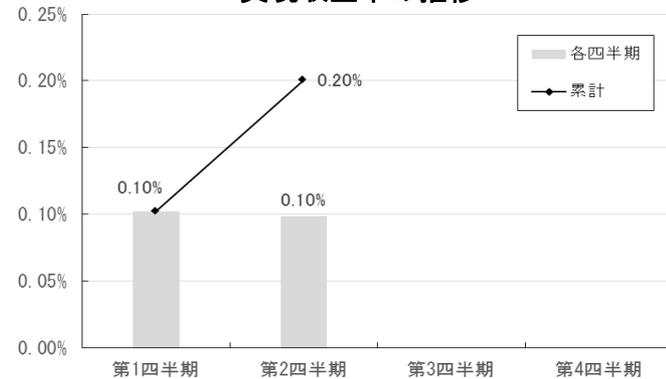
	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	0.10	0.10	—	—	0.20
国内債券	0.10	0.11	—	—	0.21
短期資産	0.00	0.00	—	—	0.00

(参考)

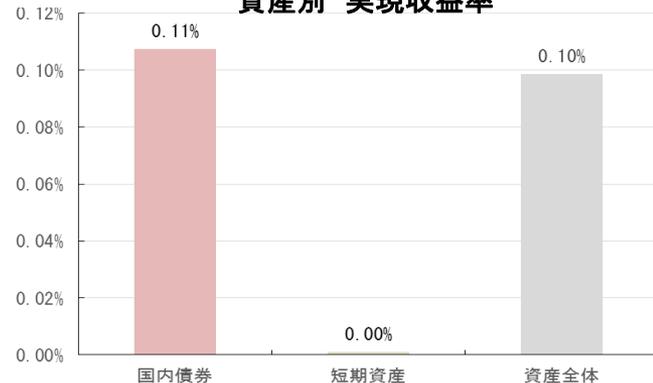
(単位：%)

	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	0.37	▲1.03	—	—	▲0.75

実現収益率の推移



資産別 実現収益率



※第2四半期の収益率(期間率)

(注1)各四半期の収益率は期間率です。

(注2)「年度計」は平成30年度第2四半期までの収益率です。

(注3)実現収益率及び修正総合収益率は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注4)修正総合収益率は、実現収益率に仮に時価評価を行った場合の評価損益の増減を加味したものです。

(注5)貸付金は、国内債券に含んでいます。

(注6)上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

## (参考)平成29年度 運用利回り

(単位：%)

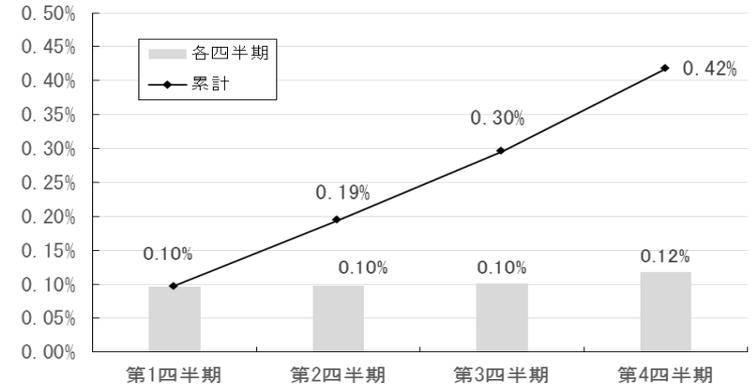
	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	0.10	0.10	0.10	0.12	0.42
国内債券	0.10	0.10	0.10	0.12	0.43
短期資産	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(参考)

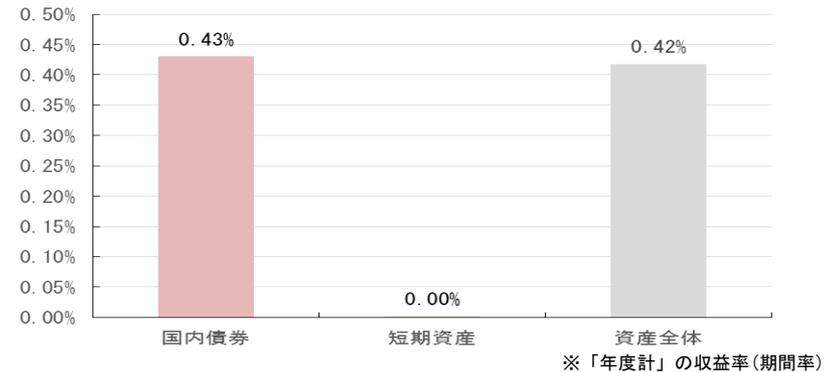
(単位：%)

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	0.42	0.38	0.33	0.55	1.73

## 実現収益率の推移



## 資産別 実現収益率



(注1)各四半期の収益率は期間率です。

(注2)実現収益率及び修正総合収益率は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注3)修正総合収益率は、実現収益率に仮に時価評価を行った場合の評価損益の増減を加味したものです。

## 平成30年度 運用収益額

平成30年度第2四半期の実現収益額は、資産全体で2.86億円となりました。

退職等年金給付組合積立金で保有する国内債券は、満期持ち切りを前提とするため、簿価評価としています。

(単位：億円)

	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	2.64	2.86	—	—	5.51
国内債券	2.64	2.86	—	—	5.50
短期資産	0.00	0.00	—	—	0.00

(参考)

(単位：億円)

	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額	9.55	▲30.14	—	—	▲20.59

(注1)「年度計」は平成30年度第2四半期までの収益額です。

(注2)実現収益額及び総合収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注3)実現収益額は、売買損益及び利息・配当金収入等です。

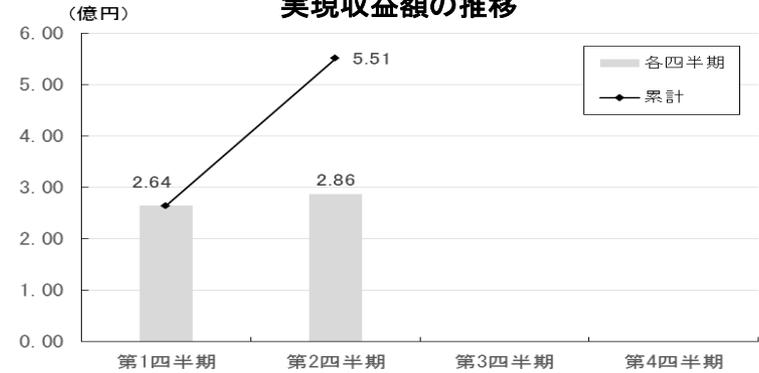
(注4)総合収益額は、実現収益額に仮に時価評価を行った場合の評価損益の増減を加味したものです。

(注5)貸付金は、国内債券に含んでいます。

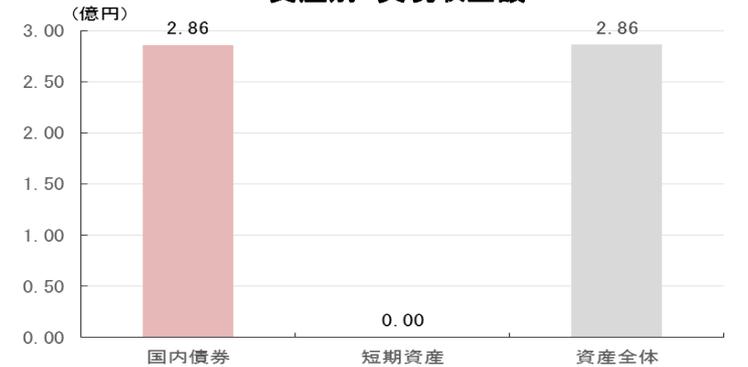
(注6)上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注7)上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

## 実現収益額の推移



## 資産別 実現収益額



※第2四半期の収益額

## (参考)平成29年度 運用収益額

(単位：億円)

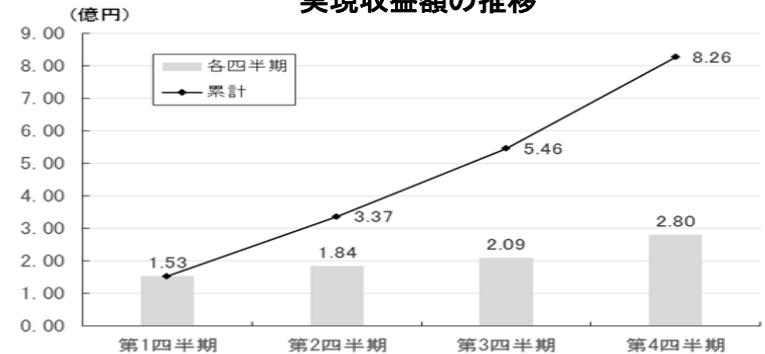
	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	1.53	1.84	2.09	2.80	8.26
国内債券	1.53	1.84	2.09	2.80	8.26
短期資産	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(参考)

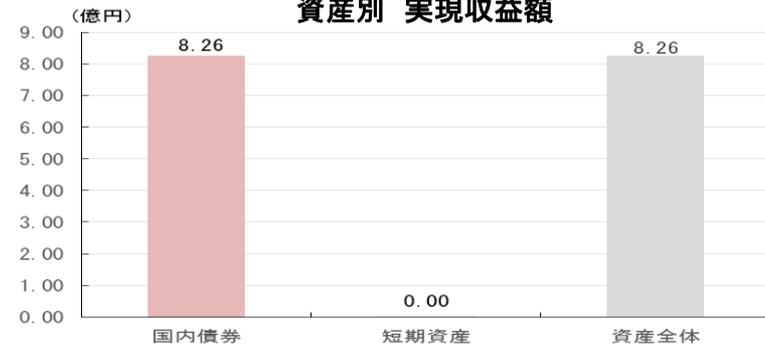
(単位：億円)

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額	6.60	7.12	6.91	13.12	33.75

## 実現収益額の推移



## 資産別 実現収益額



※「年度計」の収益額

(注1) 実現収益額及び総合収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注2) 実現収益額は、売買損益及び利息・配当金収入等です。

(注3) 総合収益額は、実現収益額に仮に時価評価を行った場合の評価損益の増減を加味したものです。

(注4) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

## 平成30年度 資産額

資産ごとの簿価、時価総額及び評価損益は以下のとおりです。

(単位：億円)

	平成30年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価総額	評価損益	簿価	時価総額	評価損益	簿価	時価総額	評価損益	簿価	時価総額	評価損益
国内債券	2,569	2,585	16	2,968	2,948	▲19	—	—	—	—	—	—
短期資産	97	97	0	13	13	0	—	—	—	—	—	—
合計	2,666	2,682	16	2,981	2,962	▲19	—	—	—	—	—	—

(参考)平成29年度

(単位：億円)

	平成29年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価総額	評価損益	簿価	時価総額	評価損益	簿価	時価総額	評価損益	簿価	時価総額	評価損益
国内債券	1,650	1,637	▲13	1,932	1,923	▲9	2,146	2,143	▲2	2,464	2,470	6
短期資産	1	1	0	33	33	0	1	1	0	70	70	0
合計	1,651	1,638	▲13	1,964	1,955	▲9	2,146	2,144	▲2	2,534	2,540	6

(注1)貸付金は、国内債券に含んでいます。

(注2)上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注3)時価総額及び評価損益は、仮に時価評価を行った場合の参考です。

(注4)ファンドで保有する短期資産は、原則として該当する資産区分に計上しています。

(注5)上記数値(平成30年度)は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

## 資金運用に関する専門用語の解説(50音順)

### ○基本ポートフォリオ

運用目標とする運用利回りを確保できるよう、長期にわたる経済・市場の見通し、過去のデータ分析等をもとに定めた資産構成割合です。

### ○実現収益率

運用成果を測定する尺度の1つです。売買損益及び利息・配当金収入等の実現収益額を元本(簿価)平均残高で除した元本(簿価)ベースの比率です。

### ○修正総合収益率

運用成果を測定する尺度の1つです。実現収益額に資産の時価評価による評価損益増減を加味し、時価に基づく収益を把握し、それを簿価平均残高に前期末未収収益と前期末評価損益を加えたもので除した時価ベースの比率です。算出が比較的容易なことから、運用の効率性を表す時価ベースの資産価値の変化を把握する指標として用いられます。

(計算式)

修正総合収益率 = (売買損益 + 利息・配当金収入 + 未収収益増減 + 評価損益増減) / (簿価平均残高 + 前期末未収収益 + 前期末評価損益)

### ○総合収益額

実現収益額に加え資産の時価評価による評価損益を加味することにより、時価に基づく収益把握を行ったものです。

(計算式)

総合収益額 = 売買損益 + 利息・配当金収入 + 未収収益増減 + 評価損益増減